

# 入院のご案内



## 公立丹南病院の基本理念

公立丹南病院は「地域に密着した、地域住民のための包括的医療（保健・医療・福祉）の実践」を基本理念とし、「地域住民に愛され、信頼される、安らぎのある病院」、そして、「いつでも、誰にでも、どんなことにも対応する病院」を心がけています。

## 患者さんの権利宣言

すべての患者さんには、平等に最善の医療を受ける権利があります。公立丹南病院はこの患者さんの権利を尊重し、信頼関係を築きながら診断、治療にあたらせていただきます。

## 説明と同意について

現在の病状、今後の治療計画やそれに代わりうる治療方法、また予測される危険性等につきましては、患者さんに納得していただけるよう十分に説明を行います。また、患者さん、ご家族の方の同意を得て、プライバシーを保護しながら治療を行います。

## セカンドオピニオンについて

患者さんが、ご自分の治療について判断に迷われる場合には、他院の医師の意見を聞く（セカンドオピニオン）などの機会が持てるよう努めております。疑問、ご不明な点がございましたら、遠慮なく医師、看護師等にご相談ください。

## 個人情報保護について

当院では、患者さんに安心して医療を受けていただくために、安全な医療を提供するとともに、患者さんの個人情報の取り扱いにも、万全の体制で取り組んでいます。当院での、患者さんの個人情報の利用目的、開示、訂正、利用停止等につきましては、正面ホールに掲示してありますのでご参照ください。

---

---

## 目 次

入院の手続き	1
入院時に準備するもの（CS セットについて）	1
病室・病棟の移動について	2
特別室（個室）について	2
入院中の食事について	2
感染対策について	3
入院中の生活について	3
入院診療費について	5
お支払いについて	6
各種証明書・診断書について	6
退院手続きについて	7
相談窓口について	7
フロアマップ	7
非常時の対応について	7
転倒転落防止について	9
「せん妄」について	11

---

## 入院の手続き

◇ 入院当日に総合受付⑩番において入院の手続きを行ってください。

### 入院当日にお持ちいただくもの

- 入院申込書（記入済のもの）
- 入院生活に関する同意書（記入済のもの）
- 診察券
- 保険証／マイナンバーカード
- 各種医療受給者証（お持ちの方のみ）
- 介護保険被保険者証（お持ちの方のみ）
- 退院証明書（3ヶ月以内に他院でご入院があった方のみ）
- 限度額適用認定証



お持ちでない方は、入院窓口にてオンライン手続き致します。  
詳しくは、入院申込書の裏面をお読みください。

※保険証・各種医療受給者証の確認ができなかった場合は、全額自費負担となります。  
また、入院中に保険証などの変更があった場合は、すぐにお知らせください。

### **！注意！** 当院入院中に、他院で診察やお薬の処方は、受けられません。

健康保険の取扱いとして、入院期間中に他病院・診療所に受診すると健康保険が利用できず、他院での診療は全額自己負担となります。入院前に他院でもらっていたお薬や定期的な受診があった場合には、必ず主治医・看護師にお知らせください。

## 入院時に準備するもの（一部貸出システム【CSセット】あり）

- 日用品（バスタオル・タオル・下着・パジャマ・ティッシュペーパー・イヤホン）
- 履物（音のしないもの、滑りにくいもの） ※スリッパはご遠慮ください。
- 洗面および入浴用具
- 食事用品（コップ、スプーン、フォーク）
- 現在服用しているお薬

※手術を受けられる方は上記以外に必要なものがあります。担当看護師にお尋ねください。

### 病衣（日用品）・おむつの貸出【CSセット】について

当院では入院生活における、患者さん(家族)の負担を軽減することを目的に、病衣・タオル類・日用品・紙おむつ類を外部専門業者からレンタルするシステム(CSセット)を導入しています。ご希望される方は別紙『CSセットのご案内』をご覧ください。

## 病室・病棟の移動について

- ◇ 当院は二次救急医療機関として多数の救急患者受入を行っており、病棟は重症度に応じて区分しています(診療科毎ではありません)。そのため、重症度に応じた病室・病棟への移動をお願いする場合がありますので予めご了承ください。

## 特別室（個室）について

- ◇ 個室を希望される方は、病棟看護師にご相談ください。個室料は別途料金をいただくこととなります。病室については、出来る限りご希望に添えるよう配慮いたしますが、空室のない場合などご希望に添えないこともありますので、ご了承ください。

※特別室料金は保険適応外のため、全額自己負担となります。

- ◇ 1日6時間以上入室された場合に、1日分の利用料金が発生します。(1泊2日でも、2日分の料金になります。)

お部屋のタイプ	料金【1日につき】
A)トイレ・洗面・シャワー 【テレビ・冷蔵庫使用無料】	8,800円(税込)
B)トイレ・洗面	6,600円(税込)
C)トイレ・洗面	5,500円(税込)
D)洗面	4,400円(税込)
お産優先病室) トイレ・洗面・シャワー	5,000円(非課税)



## 入院中の食事について

- ◇ 食事時間は、朝食7:30頃・昼食12:00頃・夕食18:00頃となっています。
- ◇ スプーン・フォークなどを必要とされる場合は、各自でご用意ください。
- ◇ 主治医の指示により、入院患者さんの全員を対象にチームで栄養管理を実施(カロリー・バランス・塩分など)した食事を提供しています。治療の妨げになることもありますので、院外からの食べ物の持込はご遠慮ください。
- ◇ 食事が半分も食べられないような状況は栄養状態の低下につながり、治療の妨げになりますので、そのようなことのないように出来るだけ迅速に対応させていただいています。ご意見がありましたら遠慮なく病棟職員にお申し出ください。



## 感染対策について

- ◇ご自身・ご家族が感染症（新型コロナウイルス・インフルエンザ・ノロウイルス等）にかかっている可能性がある場合は、お申し出ください。
- ◇院内では必ずマスクの着用をお願いします（マスクは各自でご用意ください）。
- ◇病室に戻ってきた時や食事の前後・トイレの後などには、手洗い・手指消毒をお願いします。
- ◇診察やケアを担当する医療従事者に対し、手をきれいにしたか遠慮なくお尋ねください。
- ◇感染症の流行や院内にて感染症が発生した場合、立入り制限等の対応をとる場合があります。
- ◇その他、状況に応じて異なる対応が発生する可能性があります。随時、院内掲示等でお知らせします。
- ◇最新の面会を含めた来院基準については、別紙にてご案内していますので、必ずご確認ください。（日々変更あり）

## 入院中の生活について

### ◇携帯電話・スマートフォンなど電子機器の利用について

- ◎電波を利用する医療機器に影響を与えることがありますので、病室での利用を制限する場合があります。

#### 許可のない撮影や録音はご遠慮ください

病院の施設及び敷地内における患者さんや職員のプライバシー及び個人情報を保護するため、許可のない写真・動画撮影、録音は禁止しております。また、SNS・ブログ等への投稿を固くお断りします。

※不審な方を見かけましたら、病棟職員までお知らせください。

写真・動画撮影、録音  
SNS・ブログ等への投稿



### ◇外出・外泊

- ◎外出、外泊は主治医の許可が必要ですので、看護師にご相談ください。  
また、お出かけ・お帰りの際は、必ず看護師に声をお掛けください。

### ◇病院敷地内禁煙について

- ◎快適な環境で療養していただくため、院内・敷地内全面禁煙となっています。

### ◇駐車場

- ◎入院患者さんの自動車の駐車は、原則お断りします。やむをえない事情により必要となる方は、病棟職員にご相談ください。

## ◇テレビ・冷蔵庫

- ◎テレビ・冷蔵庫はベッド毎に1台設置してあります。利用される際は「CSセット」での申し込みが必要です。
- ◎視聴される時は、他の方の迷惑とならないようイヤホンをご使用いただき、消灯時間（21:00）以降のご利用はご遠慮ください。



## ◇貴重品

- ◎院内での貴重品の管理はご自身でお願いします。ベッドサイドに鍵付きロッカーを用意していますのでご利用ください。（万一、紛失などの事故がありましても、当院では一切の補償は致しかねます）

## ◇給湯・給茶

- ◎各病棟の食事談話室にティーサーバーを設置しています。熱湯（約80～90℃）と熱い緑茶が出ますので、ご利用の際には十分ご注意ください。

## ◇ランドリー

- ◎各病棟に洗濯機（1回200円）・乾燥機（30分100円）を設置しています。
- ◎洗剤は各自でご用意ください（院内売店で販売しています）。
- ◎消灯後・早朝の利用は、他の方の迷惑となりますので、ご遠慮ください。

## ◇入浴について

- ◎入浴やシャワーについては主治医の許可が必要となりますので、看護師にご相談ください。各病棟で入浴の曜日・時間帯は異なります。

## ◇付き添いについて

- ◎付添は、原則お断りしています（小児を除く）。ただし、ご家族の方が付き添われる事により患者さんが穏やかに過ごせると思われる場合には、主治医の許可を得て付き添う事ができます。ご希望される場合は、主治医・看護師にご相談ください。
- ◎小さなお子さんが入院される場合には、お子さんの精神的な安定のため付き添いをお勧めします。（ただし、患者さんの兄弟姉妹とご一緒に付添いは、原則お断りしております）

## ◇売店（1階正面玄関横）

- ◎営業時間は売店にてご確認ください（変更がある為）。



## 入院診療費について

◇入院費は月末及び退院時に締め切り、請求書を発行します。

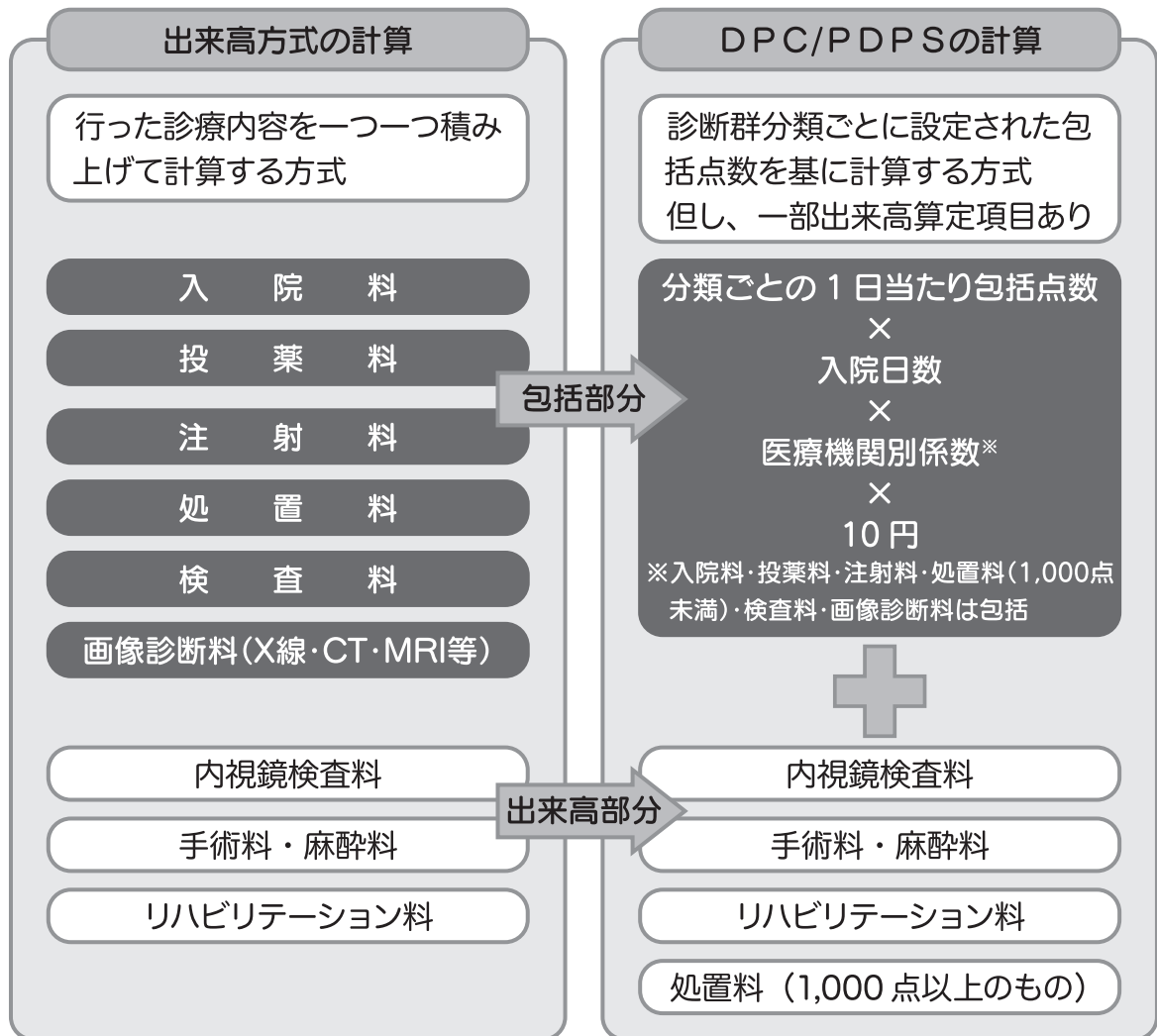
入院中……翌月10日頃

退院……退院日

◇当院はDPC対象病院であり、入院費はDPC/PDPSにより計算いたします。

### DPC/PDPS (包括払い)

DPC/PDPSは、患者様ごとに異なる病名・治療内容に応じて決定した『診断群分類』に基づき入院費を計算する「包括払い」制度です。



#### ■包括部分の計算式

包括部分の費用＝

診断群分類ごとの1日当たり包括点数 × 入院日数 × 医療機関別係数※ × 10円

※医療機関別係数：病院ごとの機能に応じて設定される係数

#### ■入院費の計算式

入院費＝

包括部分の費用 + 出来高部分の費用 + 食事療養費 + 特別室料等のオプション



## お支払いについて

- ◇ お支払いは、退院時または請求書がお手元に届き次第、速やかにお支払いください。
- ◇ 現金またはクレジットカードまたは銀行振込で支払いが可能です。  
外来診療時間内は、**支払窓口**（総合受付⑩番）・**自動支払機**（1階エントランスホール）にて現金またはクレジットカードで支払いが可能です。  
※時間外・休日は、請求書をお持ち頂ければ、時間外窓口（現金のみ）でお支払受付をしております。

### 銀行振込

振込手数料は、患者さん負担となります。  
患者さん以外の名義で振込される方は、必ず総合受付⑩番窓口までお知らせください。連絡無く他人名義で振込されると、患者さんを特定できず、入金できない場合があります。

#### ■お支払いにお困りの場合

公費医療や高額療養費についてご説明させていただきますので、病棟職員または総合受付⑩番窓口にご相談ください。

■当院では、お支払いのご相談がなく、長期間未払いの状態が続いた場合は、未払金の回収を法律事務所に委託しております。

### 領収書について

領収書の再発行は致しません。  
代わりに「領収証明書（1,100円/通）」の発行となります。

## 各種証明書・診断書について

- ◇ 退院後に診断書を記載させていただきますので、ご希望の方は、退院時に『診断書等申請用紙』を総合受付①番窓口にてご記入ください。
- ◇ 入院中に診断書等が必要な場合は、病棟職員にご相談ください。

### 診断書等の文書の発行および手数料（税込）

生命保険等診断書	4,400円/通
その他診断書（簡単～複雑）	2,200～4,400円/通

※上記に記載のない診断書等については、総合受付①番窓口にてお尋ねください。

- ◇ 申請から文書のお引渡しには1～2週間程お時間をいただきます。日々多数の診断書等の依頼を受けていますので、一定期間お待ちいただく事をご了承ください。
- ◇ 申請・受領は、原則としてご本人が行ってください。本人以外の方が申請・受領される場合は、委任状と身分証明書（免許証、保険証、住民票）をお持ちください。委任状は総合受付①番窓口にて用意しております。

## 退院手続きについて

- ◇退院についてのご要望がありましたら、主治医または看護師にご相談ください。
  - ◎退院は、治療上の理由等を除き、原則午前中となります。
  - ◎退院後の注意点や次回受診については、看護師が説明に伺います。その際に診察券・お薬をお受け取りください。
  - ◎退院時に車までお送りすることも出来ますので、看護師にご相談ください。
  - ◎入院および退院の際、贈答品のお心遣いは固くお断りさせていただきます。

## 相談窓口について (苦情、医療相談、その他相談、診療情報の開示について)

- ◇総合案内・総合受付内相談窓口では、当院に入院または通院されている患者さんの療養生活上に起こる、様々な問題や苦情について解決のお手伝いをしています。
- ◇病院に対しご意見・ご要望があるとき、退院後の福祉関係の相談、経済的な問題についてお悩みの場合は、総合案内または相談窓口スタッフにご相談ください。
  - ◎医療相談をご希望される場合は、お時間を十分お取りしいたため予約が必要となります。主治医・病棟職員または総合受付内患者相談窓口にお申し出ください。
  - ◎相談場所は、職員が相談室等へご案内いたします。
- ◇入院診療費お支払い・診療情報の開示については、総合受付⑩番窓口にご相談ください。

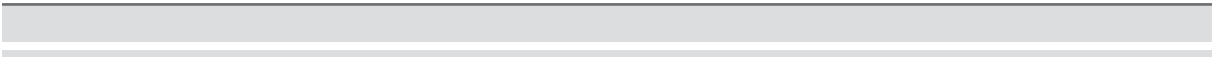
## フロアマップ

- ◇丹南病院ホームページフロアマップをご確認ください。



## 非常時の対応について

- ◇万一非常の事態が起きた場合は、必ず職員の指示に従って行動してください。また、入院時に非常口の位置を確かめておいてください。



MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing, filling most of the page.



## 入院患者様およびご家族の皆様へ

入院生活をする病院の環境は、住み慣れた家庭とは異なります。その生活環境の変化に病気やケガによる体力・運動機能低下が加わり、思いもかけない**転倒・転落事故**が起こることがあります。

丹南病院では転倒・転落事故を防止し、入院生活を安全により快適に過ごしていただけるように、日々努力しておりますが、**患者様およびご家族の皆様にも、事故防止のご協力をぜひお願いいたします。**

## 転倒や転落防止について

### ◇ 転倒や転落を防止するために

#### ① 歩きやすい服装

- ◎ サイズのあった活動性に適した衣服を着用しましょう。
- ◎ ズボンのすそ丈は、かかとの上にしてください。
- ◎ 履き慣れた、サイズの合った運動靴や滑りにくい履物を使用しましょう。
- ◎ 眼鏡が必要な方は使用しましょう。

#### ② 歩き方について

- ◎ 足元に危険がないか見ましょう（段差はないか、床はぬれてないか）。
- ◎ オーバーテーブルに手を置くと移動するので危険です。
- ◎ 廊下では、遠慮なく手すりを使いましょう。
- ◎ 足がふらついたら、その場にしゃがみこんでください。

#### ③ ベッド上での留意点

- ◎ ベッドに腰掛けた時に、足が床に着く高さに調節しましょう。
- ◎ ベッド柵はあげておいてください。
- ◎ ベッド上には立たないでください。
- ◎ 身を乗り出して、柵にある物や床に落ちた物をとる必要がある場合は看護師をお呼びください。
- ◎ ナースコールの位置を確認しておきましょう。
- ◎ 暗がりでは動かずに、ライトをつけ、目が慣れるのを待ってから動きましょう。

ベッドから降りるとき、トイレ・浴室、起立時、方向転換時注意しましょう。

ゆっくりと、つかまって、一呼吸おいてから動きましょう。



#### ④ 立ちくらみがある場合

- ◎立ち上がるときは、ゆっくり体を起こし、ベッド柵につかまり徐々に立ち上がるようにしましょう。
- ◎すぐには歩かないで、バランスが安定していることを確認してから歩き始めましょう。
- ◎立ちくらみを感じた場合は、その場にしゃがみこんでください。
- ◎ふらつく時は、車椅子で介助いたしますので、看護師をお呼びください。

#### ⑤ 夜間のトイレ

- ◎消灯前に、トイレを済ませておきましょう。
- ◎足元がふらつく方は、室内用トイレを準備させていただきます。  
(看護師が介助することもできますので、お呼びください)。
- ◎目が暗がり慣れてから、動くようにしましょう。
- ◎時間毎に、看護師が声をかける事もできますので、ご相談ください。

#### ⑥ 睡眠安定剤を服用されている場合

- ◎消灯前にトイレを済ませてから、薬を服用してください。
- ◎途中で目覚めた場合は、ふらつかない事を確認してから歩くようにしましょう。
- ◎ふらつく場合は介助が必要ですので、看護師をお呼びください。

#### ◇ 転落の危険性がある場合

- ◎ベッドからの転落を防ぐために、ベッドの高さを最低限に低くし、ベッド柵を上げるとともに、柵を下げないように固定させていただく場合もあります。
- ◎ベッドや車椅子から、突然立ち上がる危険性を生じた場合は、安全ベルトを使用させていただく場合があります。
- ◎患者様が思わぬ行動をとることで危険が予測される場合は、患者様の気持ちが落ち着かれるように、面会の機会を多くするなど、ご家族の協力をお願いすることもあります。

#### ◀お願い▶

これまでに転倒や転落事故を起こされたことがある方は、その状況をお伝えください。不安な時は、医師や看護師にご相談ください。

転倒・転落されたり、また、それを目撃されましたらすぐに看護師にご連絡ください。



## 「せん妄」について

せん妄は、脱水、感染、貧血、薬物など、体に何らかの負担がかかった時に生ずる、脳の機能の乱れであり、主に次のような変化や特徴がみられます。



### せん妄の時は、こんな変化や特徴があります

- ☑ぼんやりとしている
- ☑もうろうとして話のつじつまが合わない
- ☑朝と夜をまちがえる、病院と家をまちがえる、家族のことがわからない
- ☑怒りっぽくなり、興奮する
- ☑見えないものを見えると言ったり（幻視）、ありえないことを言う（幻覚）
- ☑夜、眠らない
- ☑症状は急に生じることが多く、夜になると症状が激しくなる

せん妄は、一般病院に入院している患者さんの20～30%にみられる症状で、病状が進んだ時や看取りの時期でその割合はさらに上昇すると言われております。当院では、手術の後や終末期、高齢患者さんに多くみられます。

### せん妄になりやすい方

- 高齢者
- お酒の量が多い方
- 認知症あるいは普段から物忘れのある方
- 視力が低下している方や難聴がある方
- 以前せん妄になった事がある方

### ◇ どうしておこるの？

病気により体の調子が悪くなることによって、脳も一時的に調子が悪くなるのが原因です。治療のお薬や、環境、持病なども影響することがあります。

認知症と誤解されやすい症状が現れますが、全く別のもので、適切な治療とケアで原因がよくなれば、元にもどります。



### ◇ せん妄になると…

せん妄は突然発症し、1日の中でも調子のよい時間や悪い時間があります。予想できない行動をとることがあり、転倒してのけが、治療に必要なチューブを抜いてしまうなど、患者さんにとって危険な状態となることがあります。また、治療やリハビリがスムーズに進まなくなることがあります。

せん妄状態になると、ご本人は、寝ぼけたようなぼんやりした感じになり、周囲の状況などがのみ込めず、つらさや不安を強く感じる人が多いようです。

## ◇せん妄の治療

せん妄はもともとの病気と密接に関連しています。まず病気の治療がうまくいくことが大切です。その上でせん妄の症状を改善するための、以下のような治療やケアを行います。

- 治療を円滑におこなうために、興奮を鎮めたり、夜によく眠れるようなお薬を使うこともあります。
- 感染症や酸素不足、水分不足の治療。
- 不快な症状(痛み、息苦しさ、熱など)の緩和につとめます。
- 環境を整え、睡眠・覚醒のリズムを整えていきます。
- カレンダーや時計、いつも使っている眼鏡や補聴器、入れ歯などをご持参いただき、できるだけ周囲の状況が分かりやすいようにしていきます。
- 治療に必要なチューブ類の保護、転倒によるけが等を防ぐための、センサーマット・安全柵や必要最小限の行動制限を実施することもあります。

### ◀ご家族へのお願い▶

家族や友人など、慣れ親しんだ人との会話は、不安を感じておられる患者さんにとって、大きな安心となりますので、付き添いなどのご協力をお願いいたします。

- つじつまの合わないお話をされても、無理に正す必要はありません。
- いつもどおりの落ち着いた声掛けをお願いします。
- せん妄になりやすいときは、ハサミや爪切りなどは危険になります。お持ち帰りいただくようお願いします。
- 特に症状が強くなる夜間は、ご家族に付き添いを依頼することもあります。

★わからない事、お困りのことがありましたら、遠慮なく看護師や医師へご相談ください。





公益社団法人 地域医療振興協会

**公立丹南病院**

Tannan Regional Medical Center

〒916-8515 福井県鯖江市三六町1丁目2-31

TEL) 0778-51-2260 FAX) 0778-52-8620

(番号のお掛け間違いにご注意ください)

ホームページ) <https://www.tannanhp-jadecom.jp/>

E-mail : [info@tannanhp-jadecom.jp](mailto:info@tannanhp-jadecom.jp)